

羅 針 盤			方 策	点検・評価		達成度	達成状況のまとめ及び次年度の課題	学校関係者評価	
評価対象	評価項目	具体的数値項目		自己評価	外部アンケート等	総合			
Ⅰ 特色ある学校づくりに努めていますか。	1 特色ある教育活動を行っていますか。	①桐高通信制に入学して良かった(学校生活に満足している)と思っている生徒が60%以上である。	①全体集会や個別面談を通して通信制での学びのスタイルを説明する。学校行事等に参加を促して「自分たちの学校」という意識を高める。	A	A	A	通信制の学びが充実したものになるよう、学校行事や個別指導を通して生徒に働きかけを行い、主体的に学習に取り組む姿勢を育成した。多様な生徒が、「自分たちの学校」という意識を更に高められるよう検討をすすめていきたい。	他の機関と連携して、伝統産業等の様々な授業があると良いと思う。	
		②通信制職員全員がガイドライン(欄外※参照)を踏まえ、本校通信制の教育課題について認識し、業務改善に努める。	②学校運営方針や今年度の重点目標に基づく目標を各教員が設定する。必要に応じて法的根拠を確認し業務を遂行する。	A	A	A			学校行事や個別指導を通して生徒に働きかけを行い、主体的に学習に取り組む姿勢を育成した。社会において通信制高校の重要性が増している昨今、通信制高校の特徴である個別最適な学びを更に実践していきたい。
Ⅱ 生徒の意欲的な学習活動について適切な指導をしていますか。	2 生徒の実態に応じた指導を行っていますか。	③「生徒学習状況表」を年2回生徒に配布し、学習指導に活用している。	③レポート・テスト・スクーリングの進捗状況がわかる個人別「生徒学習状況表」を学期末を目安に配付し、その後の学習の進め方に役立てる。	A	B	A	「生徒学習状況表」の配付は、各学期末および2学期の中間に行った。年度末に向けて、自身の現状把握や後半の学習の進め方に大いに役立った。次年度以降も同様に進めていきたい。	引き続き「生徒学習状況表」を活用して、生徒の実態に応じた丁寧な指導を心がけていただきたい。	
		④特別活動(LHR・学校行事・生徒会行事など)に満足していると思っている生徒が60%以上である。	④生徒の実態を踏まえ、主体的に学校行事へ参加できるように促し、本校への帰属意識を高める。	A	A	A			生徒の実態に応じた企画・内容となるよう工夫しており、参加生徒の満足度も高い。本校への帰属意識を高め、より主体的・積極的に参加できるように、生徒会等とも連携し、桐高通信制の活性化に努めていきたい。
	3 生徒は確かな学力を身に付けていますか。	⑤単位修得者の割合が、50%以上である。	⑤「生徒学習状況表」等を活用して計画的に学習を進め、単位修得につながるよう、それぞれの生徒の実態に応じた丁寧な指導を心がける。	B	B	B	「生徒学習状況表」の配付が、その後の生徒の学習計画に有効にはたらし、単位修得につながる。一方で、単位の修得に至らなかった生徒も一定数おり、そのような生徒への対応について、個々の実態を踏まえながら効果的な対策を考えていきたい。		
Ⅲ 生徒の充実した学校生活について適切な指導をしていますか。	4 組織的・継続的な指導を行っていますか。	⑥集団の中でお互いを尊重し、マナーを守り、清掃等の活動に協力している生徒が60%以上がある。	⑥生徒が主体となって学校での活動に参加し充実した生活がおくれるよう学校でのルールやマナーについて見直す。	A	A	A	年度当初から学校生活におけるルールやマナー等の周知に努めた。また、各行事等で現状の課題等を生徒に説明し、安全で安心した学校生活が送れるように協力を求めた。桐高通信や本日の連絡事項等で継続的にルールやマナーについて説明し、生徒に協力してもらえるように努めている。	生徒各々の環境が異なる中での対策は困難であるが、根気よく取り組んでいただきたい。	
		⑦学校からの指導(講演会・桐高通信・スマホルール等)を通して、SNS等の危険性について理解が深まったと思う生徒は60%以上である。	⑦専門家による講演会を実施し、また、生徒会活動としてスマホ利用ルールを作り、SNSでのトラブルや危険性の認識を高める。	A	A	A			年度当初にKDDIの講師によるスマホ・ケータイ安全教室を開催し、スマホやインターネット使用時の具体的なトラブルについて実例をあげて丁寧な説明を受けた。また新入生歓迎会等の行事で、生徒会役員よりスマホ利用ルールを生徒に伝え、トラブルを未然に防止できるように努めた。
		⑧質問や心配なことがあるときに先生に相談しやすく、先生は誠実に対応してくれると思う生徒が60%以上である。	⑧普段から生徒への声かけを行い、相談しやすい雰囲気をつくるように教職員へ働きかける。また、スクールカウンセラーを利用しやすい環境作りに努める。	A	A	A			健康アンケート、三者面談等を活用し、職員間で共通理解の上で支援をおこなった。スクールカウンセラーや養護教諭との連絡体制の徹底と対応についての共有に努めた。
	5 学校はいじめの防止や早期発見に向けた取組を積極的に行っていますか。	⑨学校でおこなういじめ予防の取り組みやいじめに関する調査が適切に行われていると思う生徒が60%以上である。	⑨普段の生徒への声かけやいじめアンケートの実施を通して、いじめ防止に努め、早期発見に努める。	A	A	A	いじめアンケートを定期的に行い、生徒の状況を把握したり、学校いじめ対策組織を定期的に関き、心配な生徒の情報等を職員間で積極的に共有した。		
		6 生徒は健康で、規則正しい学校生活を送っていますか。	⑩あなたの学校での生活は安心して快適であり、体調不良になった時には適切に対応してくれると思う生徒が60%以上である。	⑩健康アンケートを活用し心身の問題を抱える生徒情報を職員間で共有する。養護教諭との連絡体制の徹底を図る。緊急時の対応について点検をする。	A	A	A		健康アンケート等を活用し、職員間で共通理解の上で支援をおこなった。養護教諭との連絡体制の徹底及び緊急時の対応についての点検に努めた。
			⑪進路についての情報が学校から適切に提供されていると思う生徒が60%以上である。	⑪月報や面談等で得た個々の生徒の情報を共有し、生徒の状況や進路希望をもとに組織的な情報発信に努める。	A	A	A		月報「桐高通信」の発行を通して、生徒がより良い学校生活を構築し、計画的に学習活動ができるように配慮した。今後も、生徒の進路実現に向けて必要な情報の提供に努めたい。
Ⅳ 生徒の主体的な進路選択について適切な指導をしていますか。	7 計画的な指導を行っていますか。	⑫進路説明会や進路講演会等は進路を考えるうえで役立っていると思う生徒が60%以上である。	⑫生徒へのアンケート調査等を行い、生徒のニーズに合った進路行事を企画する。	A	A	A	外部機関と連携しながら進路行事を開催することで、生徒個々の進路実現に向けての意識を高めることができた。次年度に向け、参加する生徒の数を増やす手立てを構築していきたい。	個々の生活環境等に応じて、関係機関との連携が大切である。	
		8 生徒は自らの進路について真剣に考え、その実現に向けて取り組んでいますか。	⑬進路実現に向けて積極的に取り組んでいると感じている生徒が50%以上である。	⑬生徒の進路に対する考え等を理解するために、調査を行う。また、平日登校等と呼びかけ、指導機会を増やす。	A	A	A		進路希望調査等を実施して、生徒の実態把握に努めた。また、担任と連携して必要な情報を共有することで、生徒への的確な指導に役立てた。
Ⅴ 開かれた学校づくりに努めていますか。	9 家庭、地域社会に積極的に情報発信をしていますか。	⑭月報「桐高通信」には、学習や学校生活に必要な情報は提供されていると思う生徒が60%以上である。	⑭月報の内容および見やすさについて常に工夫と見直しを行う。年間を通じて計画的に発行する。	A	A	A	内容の明確さや構成の仕方について、随時改善しながら進めていった。また、生徒に提供するタイミングを学校行事等の状況を考慮しながら行った。		
		⑮桐高通信制のWebサイトで情報は適切に提供されていると思う生徒が60%以上である。	⑮Webサイトを適時且つ有効な情報発信の場と考え、月に1回以上の更新を行う。	A	A	A			桐高通信制のWebサイトで適切な情報を得られていると考える生徒の割合が90%以上であった。桐高通信を月1回掲載しているのに加え、事務局や教頭からのお知らせなども掲載している。また、それらを掲載したときに一斉連絡網で通知をしている。
Ⅵ 教育デジタル化に努めていますか。	10 ICTを活用した指導を行っていますか。	⑯ICT機器を活用した学習活動(スクーリング授業等)によって、学習内容が分かりやすくなったと思う生徒が60%以上である。	⑯積極的にスクーリング授業でICT機器を活用できるように活用情報等の共有の機会を設ける。	A	A	A	ICT機器を活用した授業によってわかりやすくなったと回答する生徒の割合が85%以上であった。ただし、記述回答の中でパワーポイントの説明だと忙しいという意見も見られた。授業内容を精査する必要があると思われる。		
		11 ICTを活用した業務改善を行っていますか。	⑰ICT機器を活用した情報伝達(Webページ・一斉メール)によって、学校からの連絡等が理解しやすくなったと思う生徒が60%以上である。	⑰紙媒体での情報伝達の補完としてデジタル媒体の利用(Webページ・一斉メール)を推進する。	A	A			A